



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 8415 URL <http://www.kyfg.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 片山 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役グループ企画部長

(氏名) 米坂 享

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,660	△7.5	15,435	57.1	10,012	149.9
24年3月期第3四半期	65,579	△0.1	9,822	△7.5	4,007	△54.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 14,101百万円 (2.8%) 24年3月期第3四半期 13,721百万円 (△21.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	13.59	10.47
24年3月期第3四半期	5.46	3.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,879,756	176,910	4.5
24年3月期	3,854,842	183,034	4.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 174,568百万円 24年3月期 180,785百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当状況を記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,600	△4.4	12,900	△12.0	7,700	1.3	10.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	745,017,053 株	24年3月期	745,017,053 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	14,975,319 株	24年3月期	7,132,952 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	737,024,798 株	24年3月期3Q	734,276,921 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(種類株式の配当の状況)

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第4回第一種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	11 00	11 00
25年3月期	—	0 00	—		
25年3月期(予想)				11 00	11 00

(注)第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※平成25年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、資金運用収益や貸倒引当金戻入益が減少したことなどにより、経常収益は、前年同期比 49億19百万円減少の 606億60百万円となりました。

経常費用につきましては、資金調達費用、営業経費及び有価証券の減損処理額が減少したことなどにより、前年同期比 105億32百万円減少の 452億25百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は、前年同期比 56億13百万円増加の 154億35百万円、連結四半期純利益につきましては、前年同期比 60億5百万円増加の 100億12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が 3兆8,797億円、純資産が 1,769億円となりました。

貸出金につきましては、前連結会計年度末比 95億円減少の 2兆5,296億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比 294億円増加の 3兆5,254億円となりました。

また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比 1億円減少の 1兆690億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間の経常利益及び四半期純利益は、平成24年5月11日に公表いたしました通期業績予想を上回っておりますが、中小企業金融円滑化法の終了も見据え、今後与信関連費用が増加する可能性などがあることから、連結業績予想に変更はありません。今後、修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第 3 四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
現金預け金	84,887	87,726
コールローン及び買入手形	61,239	113,445
買入金銭債権	2,830	2,437
商品有価証券	2,010	1,438
有価証券	1,069,148	1,069,034
貸出金	2,539,253	2,529,692
外国為替	1,865	2,884
その他資産	43,589	32,243
有形固定資産	33,539	33,150
無形固定資産	13,459	11,307
繰延税金資産	17,053	10,751
支払承諾見返	15,389	14,139
貸倒引当金	△29,424	△28,495
資産の部合計	3,854,842	3,879,756
負債の部		
預金	3,440,024	3,503,042
譲渡性預金	55,988	22,400
債券貸借取引受入担保金	84,206	94,146
借入金	30,100	25,005
外国為替	14	32
社債	13,000	10,000
その他負債	31,994	33,170
退職給付引当金	29	30
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	700	528
偶発損失引当金	327	317
支払承諾	15,389	14,139
負債の部合計	3,671,808	3,702,846
純資産の部		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	64,605	47,940
利益剰余金	45,748	53,052
自己株式	△847	△1,694
株主資本合計	167,856	157,648
その他有価証券評価差額金	12,802	16,813
繰延ヘッジ損益	125	106
その他の包括利益累計額合計	12,928	16,920
少数株主持分	2,249	2,341
純資産の部合計	183,034	176,910
負債及び純資産の部合計	3,854,842	3,879,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	65,579	60,660
資金運用収益	44,243	42,357
(うち貸出金利息)	34,282	33,003
(うち有価証券利息配当金)	9,720	9,112
役務取引等収益	8,460	8,390
その他業務収益	8,730	8,163
その他経常収益	4,144	1,749
経常費用	55,757	45,225
資金調達費用	5,433	4,297
(うち預金利息)	4,438	3,344
役務取引等費用	2,940	2,994
その他業務費用	7,110	3,557
営業経費	31,414	30,533
その他経常費用	8,859	3,842
経常利益	9,822	15,435
特別利益	1,491	1
固定資産処分益	15	1
退職給付制度改定益	1,476	—
特別損失	55	45
固定資産処分損	48	15
減損損失	7	29
税金等調整前四半期純利益	11,257	15,392
法人税、住民税及び事業税	442	995
法人税等調整額	6,737	4,295
法人税等合計	7,179	5,290
少数株主損益調整前四半期純利益	4,078	10,101
少数株主利益	71	88
四半期純利益	4,007	10,012

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,078	10,101
その他の包括利益	9,642	3,999
その他有価証券評価差額金	9,861	4,019
繰延ヘッジ損益	△218	△19
四半期包括利益	13,721	14,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,644	14,004
少数株主に係る四半期包括利益	76	96

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成 24 年 9 月 6 日に第 4 回第一種優先株式（公的資金優先株式）の一部を自己株式として 16,659 百万円取得し、同日消却いたしました。

このことを主因として、当第 3 四半期連結累計期間において、資本剰余金が 16,664 百万円減少し、当第 3 四半期連結会計期間末の資本剰余金の残高は、47,940 百万円となりました。

平成25年3月期 第3四半期
決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【 目 次 】

1. 損益の状況	
(1) 紀陽ホールディングス連結	1
(2) 紀陽銀行単体	2
2. 預金、貸出金の残高【紀陽銀行単体】	3
3. 預かり資産（投資信託・公共債・個人年金保険等）残高【紀陽銀行単体】	3
4. 自己資本比率【紀陽ホールディングス連結】【紀陽銀行単体】	3
5. 時価のある有価証券の評価差額【紀陽銀行単体】	4
6. 金融再生法ベースのカテゴリによる開示【紀陽銀行単体】	4

※記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 紀陽ホールディングス連結

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第3四半期 連結累計期間 (a)	平成24年3月期 第3四半期 連結累計期間 (b)	比較 (a - b)	平成25年3月期 通期業績予想値
1 連結粗利益	48,062	45,951	2,111	
2 資金利益	38,059	38,810	△ 751	
3 役務取引等利益	5,396	5,520	△ 124	
4 その他業務利益	4,605	1,620	2,985	
5 (うち債券関係損益)	(3,655)	(676)	(2,979)	
6 営業経費 (△)	30,533	31,414	△ 881	
7 一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 1,596	—	△ 1,596	
8 株式等関係損益	△ 382	△ 5,825	5,443	
9 不良債権処理額 (△)	4,804	2,683	2,121	
10 うち貸出金償却 (△)	2,453	2,380	73	
11 うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	2,103	—	2,103	
12 貸倒引当金戻入益	—	1,400	△ 1,400	
13 償却債権取立益	1,113	1,353	△ 240	
14 経常利益	15,435	9,822	5,613	12,900
15 特別損益	△ 43	1,435	△ 1,478	
16 うち退職給付制度改定益	—	1,476	△ 1,476	
17 うち固定資産減損損失 (△)	29	7	22	
18 税金等調整前四半期純利益	15,392	11,257	4,135	
19 法人税等合計 (△)	5,290	7,179	△ 1,889	
20 法人税、住民税及び事業税 (△)	995	442	553	
21 法人税等調整額 (△)	4,295	6,737	△ 2,442	
22 少数株主損益調整前四半期純利益	10,101	4,078	6,023	
23 少数株主利益	88	71	17	
24 四半期(当期)純利益	10,012	4,007	6,005	7,700
25 与信コスト総額 (△)	2,084	△ 100	2,184	

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. (△)は損失項目です。

当第3四半期連結累計期間の紀陽ホールディングス連結経営成績は、資金利益や役務取引等利益が前年同期比で減少したものの、有価証券関係損益が改善したことなどにより、経常利益が前年同期比56億円増加の154億円、四半期純利益が前年同期比60億円増加の100億円となりました。

(2) 紀陽銀行単体

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第3四半期 累計期間 (a)	平成24年3月期 第3四半期 累計期間 (b)	比較 (a - b)	平成25年3月期 通期業績予想値
1 業 務 粗 利 益	45,031	42,961	2,070	
2 資 金 利 益	37,969	38,709	△ 740	
3 役 務 取 引 等 利 益	3,156	3,335	△ 179	
4 そ の 他 業 務 利 益	3,906	915	2,991	
5 (うち債券関係損益)	(3,655)	(658)	(2,997)	
6 経費(除く臨時処理分)(△)	28,324	28,845	△ 521	
7 一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 1,565	—	△ 1,565	
8 業 務 純 益	18,272	14,115	4,157	
9 うちコア業務純益	13,051	13,457	△ 406	
10 臨 時 損 益	△ 2,094	△ 3,714	1,620	
11 株 式 等 関 係 損 益	△ 382	△ 5,825	5,443	
12 うち株式等償却(△)	297	5,154	△ 4,857	
13 不 良 債 権 処 理 額 (△)	3,478	1,742	1,736	
14 うち貸出金償却(△)	1,326	1,444	△ 118	
15 うち個別貸倒引当金繰入額(△)	1,909	—	1,909	
16 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	—	1,576	△ 1,576	
17 償 却 債 権 取 立 益	645	925	△ 280	
18 そ の 他	1,120	1,350	△ 230	
19 経 常 利 益	16,178	10,401	5,777	13,700
20 特 別 損 益	△ 19	1,437	△ 1,456	
21 うち退職給付制度改定益	—	1,476	△ 1,476	
22 うち固定資産減損損失(△)	6	7	△ 1	
23 税 引 前 四 半 期 純 利 益	16,158	11,838	4,320	
24 法 人 税 等 合 計 (△)	4,945	6,729	△ 1,784	
25 法人税、住民税及び事業税(△)	632	46	586	
26 法 人 税 等 調 整 額 (△)	4,313	6,683	△ 2,370	
27 四 半 期 (当 期) 純 利 益	11,213	5,108	6,105	9,100
28 与 信 コ ス ト 総 額 (△)	1,257	△ 790	2,047	

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
 2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
 3. (△)は損失項目です。

当第3四半期累計期間の紀陽銀行単体ベースの経営成績は、市場金利が低位で推移する中、資金利益が減少したことなどから、コア業務純益は前年同期比4億円減少の130億円となりました。
 経常利益については、上記に加え、与信コスト総額が増加となる一方、有価証券関係損益が改善したことなどにより、前年同期比57億円増加の161億円となりました。
 また、四半期純利益については、前期に計上していた特別利益(退職給付制度改定益)がなくなる一方、法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期比61億円増加の112億円となりました。

2. 預金、貸出金の残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
		平成24年12月末	平成23年12月末	前年同期比	平成24年3月末
1	預金・譲渡性預金(末残)	35,394	35,042	352	35,155
2	うち預金	35,100	34,328	772	34,470
3	うち個人預金	26,838	26,544	294	26,433
4	貸出金(末残)	25,364	25,043	321	25,462
5	うち消費者ローン	8,898	8,971	△ 73	8,988
6	うち住宅ローン	7,671	7,677	△ 6	7,699

3. 預かり資産(投資信託・公共債・個人年金保険等)残高

(紀陽銀行単体)

		(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
		平成24年12月末	平成23年12月末	前年同期比	平成24年3月末
1	投資信託残高	1,563	1,438	125	1,538
2	公共債残高	423	539	△ 116	500
3	投資信託・公共債合計残高	1,987	1,978	9	2,039
4	個人年金保険等	2,750	2,449	301	2,527

(注) 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

4. 自己資本比率

(紀陽ホールディングス連結、第二基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成24年12月末(A)	平成24年9月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	10.98%	10.75%	0.23%
2	Tier 1比率	8.63%	8.24%	0.39%
3	自己資本額	1,969	1,948	21
4	うちTier 1	1,547	1,493	54
5	リスクアセット等	17,921	18,113	△ 192
6	総所要自己資本額	716	724	△ 8

(紀陽銀行単体、国内基準)

		(単位：億円)		(単位：億円)
		平成24年12月末(A)	平成24年9月末(B)	比較(A)-(B)
1	自己資本比率	10.30%	10.01%	0.29%
2	Tier 1比率	8.03%	7.58%	0.45%
3	自己資本額	1,835	1,803	32
4	うちTier 1	1,431	1,365	66
5	リスクアセット等	17,811	18,010	△ 199
6	総所要自己資本額	712	720	△ 8

5. 時価のある有価証券の評価差額

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成24年12月末			平成24年3月末		
	評価差額			評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損
1 満期保有目的(注3)	6	12	6	2	11	8
2 その他有価証券	248	324	76	187	270	82
3 株式	28	57	29	11	35	23
4 債券	135	138	2	122	123	0
5 その他	38	82	44	2	60	57
6 (注4)	46	46	—	51	51	—
7 総合計	254	337	82	190	281	90

(注1) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

(注2) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

(注3) 満期保有目的として保有する変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。

(注4) 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

6. 金融再生法ベースの категорияによる開示

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成24年12月末	平成24年3月末
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	207	227
2 危険債権	658	625
3 要管理債権	73	70
4 小計	938	923
5 (合計債権残高に占める比率)	(3.65%)	(3.58%)
6 正常債権	24,760	24,865
7 合計	25,699	25,789

以上